



関係各位
NEWS RELEASE

2021年12月24日
株式会社ビヨンドブルー

「CVE-2021-44228 に関する脆弱性検査無償サービスのお知らせ」

当社ビヨンドブルーは脆弱性診断サービスを提供する株式会社レイ・イージス・ジャパンのセキュリティ業界を震撼させた Log4j の脆弱性に特化して本格的な検査を行うツールを必要な方に Web サイトの CVE-2021-44228 に関する脆弱性検査を無償提供致します。

セキュリティ業界では、CVSS のベーススコア「10.0」で最高の危険度を持つ CVE-2021-44228（通称：Log4Shell）に注目が集まっています。この脆弱性は、JNDI LDAP ルックアップ機能に起因するリモートコード実行が出来てしまうということで、対策版として「Log4j 2.15.0」が緊急リリースされました。ところが、この対策版に新たな脆弱性が発見され、CVE-2021-45105 として公表されました。こちらは CVSS のベーススコアは「7.5」ということで若干危険度は低くなるものの、The Apache Software Foundation（ASF）は先週、対策版となるロギングライブラリ「Apache Log4j 2.17.0」をリリースしています。レイ・イージスでは診断サービスの中で、今回の問題について気づいていましたが、脆弱性の重大性を鑑み、Log4j の脆弱性に特化して検査するツールを独自開発しました。既にメジャーな診断ツールには、本脆弱性を診断するモジュールが組み込まれつつありますが、ツールでは表面的な確認にとどまらず、現実的に行われる可能性のある難読化など、WAF などのセキュリティ対策迂回技術が適用された攻撃パターンを含んだより広範かつ現実的なものとなっています。現在提供中の脆弱性診断サービスにはこの診断機能が標準で組み込まれておりますが、本脆弱性に関しては緊急性の観点から、通常の診断サービスとは別に、ご希望の方には無償で実施させていただくことにいたしました。なお、無償提供は4月まで行う予定でありますが、診断の空き時間を利用しての提供となりますので、多少お待ちいただくことがあるかもしれませんがご希望の方はあらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。詳しくは当社までご連絡ください。

●サービスのお問い合わせ●

株式会社ビヨンドブルー
ソリューション営業部
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1
Email: toiawase@beyondblue.tokyo